

# 節電を心掛けましょう

3月に発生した東日本大震災の影響により、今夏は大幅な電力不足が見込まれており、大口需要家・小口需要家・家庭の部門ごとの需要抑制の目標が、均一にマイナス15%と示されています。

夏に向けて電力消費が多くなりますので、早い時期からの一人ひとりの節電対策が大変重要です。

夏の電力消費のピークは、冷房などが多くなる14時ころです。家庭では19時から20時がピークです。ピーク時を中心に、1日を通じた節電にご協力をお願いします。

## ◆節電は無理のない範囲で

真夏の日中に幼児や高齢者がいる部屋の冷房を止めて熱中症になったりしないよう、節電は無理のない範囲で取り組みましょう。

## 家庭での節電は？

### ◆エアコン

- ・室温28℃を心掛けましょう。↓**削減率10%**（設定温度を2℃上げた場合）
- ・無理のない範囲で消して、

扇風機を使いましょう。↓**削減率10%**

・「すだれ」や「よしず」などで窓からの日差しを和らげましょう。↓**削減率10%**

### ◆冷蔵庫

・設定を「強」から「中」に切り替え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰め込み過ぎないようにしましょう。↓**削減率2%**

### ◆照明

・日中は消して、夜間もできるだけ減らしましょう。↓**削減率5%**

### ◆電気製品

・テレビは省エネモードに設定するとともに画面の輝度を下げ、必要なき以外は消しましょう。↓**削減率2%**

・使用していない電気製品の主電源は切りましょう。さらにプラグを抜くことで待機電力の節電が可能です（特にパソコンやテレビなどは待機電力が大きいので、節電効果も大きいです）。

※削減率は、在宅世帯の日の平均消費電力における目安です（資源エネルギー庁推計）。



## 事業所での節電は？

### ◆空調

・設定温度は28℃を目安にし、場合によっては風通しなく室内環境に配慮しつつ、28℃よりも若干引き上げましょう。

### ◆照明

・間引きをするなどして点灯本数を減らしましょう。

### ◆服装

・涼しく効率的に働けるよう、クールビズなどを心掛けましょう。

### ◆OA機器

・こまめに電源を切るよう心掛けるとともに、省エネモード設定を行いましょ。

### ◆生産設備など

・適切、定期的なメンテナンスを行い、ロスの低減を図りましょう。

### ◆厨房機器など

・調理機器や業務用冷凍庫、冷蔵庫の設定温度の見直しを図りましょう。

## 節電アイデア大募集！

皆さんが家庭で行っている、簡単に効果的な節電アイデアを募集します。寄せられたアイデアは広報そうさなどで紹介させていただきます。

また、7月～9月を通して15%削減を達成した家庭に対する報奨措置を検討しています。詳しくは来月以降の広報そうさでお知らせします。

無理をせず楽しみながら節電に取り組みましょう。

## 節電ダイヤル開設

節電に関する問い合わせ窓口として「節電ダイヤル」が開設されました。

☎0570・064・443  
（土日祝日含む9時～17時）

ポータルサイト「節電.go.jp」  
（<http://setuden.go.jp/>）

## 省エネルギー推進本部設置

夏期の電力供給不足への対応や、省エネルギーの一層の推進を図るため、市長を本部長とした「匝瑳市省エネルギー推進本部」を設置しました。6月16日には本部会議を開催し、本市での節電の取り組みや目標などを定めた「匝瑳市における節電対策の基本的な方針」を決定しました。

今後は、本部を中心として、市民や事業者の皆さんのご協力をいただきながら節電対策に取り組んでまいります。

環境生活課環境班  
☎73・0088

## 平和の像にささげる千羽鶴募集



平和への想いを託して（昨年）

永遠の平和を祈り、八日市場駅前平和の像にささげる折り鶴を募集します。

折り紙サイズは7.5cm四方（市販折り紙の1/4サイズ）が原則で、紙質と色は問いません。50羽ずつひもを通し、まとめた状態にして7月20日（水）までに市役所総務課、または野栄総合支所へお持ちください。お持ちいただいた折り鶴は、8月1日（月）から15日（月）まで平和の像にささげます。

☎総務課庶務班☎73-0084

# 平成18～22年度 匝瑳市行政改革大綱の取組結果

行政改革大綱は、少子高齢化などの行政課題に対応し、将来にわたって持続可能な行政運営に転換するための取り組みをまとめたものです。

本市では平成18年度から22年度までの5年間の計画期間とし、人件費の抑制や事務事業の見直しなど、約19億6,000万円の経費削減を行いました。

ここに、取組結果の概要をお知らせします。



## ◆定員管理

○職員数を次の通り抑制（平成18～22年度合計▲11億1,585万円。病院医療職を除く）。

時 点	職員数	削減数	削減率
平成18年4月1日	390人	—	—
平成19年4月1日	377人	▲13人	▲3.3%
平成20年4月1日	364人	▲13人	▲3.4%
平成21年4月1日	352人	▲12人	▲3.3%
平成22年4月1日	338人	▲14人	▲4.0%
合 計		▲52人	▲13.3%

※平成23年4月1日現在の職員数は331人で、平成18年4月1日現在と比較すると▲59人（▲15.1%）です。

## ◆給与の適正化

○平成18年度において収入役を非選任（▲1,032万円）。

※平成19年度からは地方自治法の改正により収入役制度を廃止。

○平成19年度から期末勤勉手当の基礎額の役職加算率を10%削減（平成19～22年度合計▲3,713万円）。

○平成19年度から管理職手当を10%削減（平成19～22年度合計▲3,609万円）。

○平成19年度から社会福祉業務手当など11手当を廃止（25→14）、薬剤散布汚物取扱手当など6手当の支給額を減額（平成19～22年度合計▲1,750万円、医師を除く）。

○市長、副市長、教育長の給料月額および期末手当を次の通り削減（平成18～22年度合計▲1,876万円）。

区 分	平成18年度		平成19・20年度	
	給 料	期 末	給 料	期 末
市 長	▲5%	▲10%	▲10%	▲10%
副市長	▲5%	▲10%	▲10%	▲10%
教育長	▲5%	▲10%	▲10%	▲10%

区 分	平成21年度		平成22年度	
	給 料	期 末	給 料	期 末
市 長	▲20%	▲10%	▲20%	▲10%
副市長	▲15%	▲10%	▲10%	▲10%
教育長	▲10%	▲10%	▲10%	▲10%

## ◆組織機構の見直し

○効率的な事務執行を図るため、本庁と支所の役割を見直し、平成20年4月に支所の室を6室から3室へ統合し、さらに平成22年4月に3室を廃止。

## ◆事務事業の見直し

○平成19年度に投票区を統合し、19投票区を15投票区へ。

○平成19年度から大型市バス（50人用）を廃止（平成19～22年度合計▲2,587万円）。

○平成20年4月1日、米倉分校を八日市場小学校に統合。

○平成22年4月1日、飯高小学校を八日市場小学校に統合。

## ◆民間委託などの推進

○平成18年9月からコミュニティセンター（9施設）、養護老人ホームおよび心身障害者福祉作業所に、平成21年4月からふれあいパーク八日市場に指定管理者制度を導入。

○平成22年4月から養護老人ホームを社会福祉法人へ譲渡し、民営化へ（▲1,000万円）。

○平成20年度から学校用務員を全面委託（平成20～22年度合計▲1,771万円）。

○平成21年度から市バスの運転業務を全面委託（平成21～22年度合計▲1,330万円）。

## ◆第3セクターなどの見直し

○平成19年2月、「匝瑳市土地開発公社情報公開規程」および「匝瑳市土地開発公社個人情報保護規程」を制定（平成19年4月1日施行）。

○平成18年度にふれあいパーク八日市場有限会社に対し、市の情報公開制度に準じた情報公開制度の導入を要請。

○市民病院において、清掃業務委託・診療材料共同購入などにより経費を削減（平成18～22年度合計▲7,692万円）。

## ◆財政の健全化

○未利用市有地の売却（平成18～22年度合計5,762万円）。

○広報そうさ、ホームページ、市内循環バスに広告を掲載（平成20～22年度合計224万円）。

○平成19年度予算から「枠配分方式（※）」を導入し、事務事業を見直し（平成19～22年度合計▲1億8,300万円）。

※その年度に見込まれる予算枠をあらかじめ各課に配分し、その範囲内で予算編成をする方式のこと。

平成23年度の行政改革は、「匝瑳市行政改革大綱（平成23年度版）」に基づき推進しています。

なお、平成24年度以後の行政改革については、本年度中に「第2次匝瑳市行政改革大綱」を策定し、この大綱に基づき推進していく予定です。

問 総務課庶務班 ☎73-0084